

選抜入試の教科書



クラウドセンバツ

企画・西岡孝誠

勉強が苦手でも、優等生でなくても
志望校に受かる!?

あなたを

最短最速
逆転合格

で
に
導
く

史上初の実戦的
「選抜入試」攻略本!

※IBAO・推薦入試

選抜入試の教科書

クラウドセンバツ

企画 西岡孝誠

星海社

269



SEIKAISHA
SHINSHO

はじめに

この本は『選抜入試の教科書』というタイトルですが、みなさんは選抜入試というものをどれくらいご存じでしょうか？

「なんか最近増えているらしいね」

という程度の認識の人もいるかもしれませんが、はつきり言って、あと5年もしたら、一般入試で大学に進む人よりも選抜入試で大学に進む人の方が圧倒的に多くなります。それくらい今の大学受験は変革期に突入しており、選抜入試は急激に拡大しているのです。

たとえば、早稲田大学は推薦型選抜入試の募集枠を通常では考えられないスピードで増やしていて、なんと2026年までに全体の6割まで引き上げるという目標を掲げている

ほどです。現在は一般入試が6割ですので、その数字が逆転するという事です。早稲田大学と言え、やはり一般入試で合格する人が多いイメージがありますよね。それが逆転するわけですから驚きです。

他に、現在でも法政大学の入学者は3割以上が選抜入試ですし、それ以外の有名大学、MARCHや関関同立でも推薦の枠が増えているのが現状です。

それくらい、選抜入試は新時代の大学受験のスタンダードになる可能性を秘めているのです。

しかし現状、体系化された選抜入試の対策は存在しません。

世間のイメージとしては、「一般入試より楽」と考えられているわけですが、選抜入試の方が対策という点では非常に難易度が高いと言えます。

なぜなら一般入試のような、過去問の量や勉強時間などの具体的な指標がないからです。

一般入試であれば、「毎日何時間勉強すればいい」「これくらいの成績ならこの大学に行けるよ」といった指導が可能です。70年以上日本ではそういった指導がされていて、ほとんどの塾や学校に対応可能な人材がいます。

しかし、選抜入試はここ数年で急増しているわけですから、情報がほとんどありません。多くの学校や塾が「なんとなく」で対策しているのです。

この本は、そんな状態の選抜入試に一石を投じるために作られました。

我々クラウドセンバツでは、選抜入試対策の情報を集め、早慶上智・MARCH・関同立・国公立をはじめとする難関大学の指導を年間300人程度に行っています。そして我々自身も、そんな推薦入試を勝ち抜いてきた大学生コーチが中心の集団です。

評定が低いところからMARCHなどの難関大学に合格した講師、英語資格を利用して早慶ICUに合格した講師、課外活動に参加して合格した講師など、それぞれの弱みを強みに変え、大学でやりたいことを明確にして将来の目標を書くことで、合格という結果を得ることができました。

だからこそ、選抜入試の合理的な対策をお教えできるのです。

この本が、みなさんが選抜入試というものを正しく理解し、多くの人が選抜入試という選択肢を真剣に考えるきっかけとなればと願っています。

第0章

選抜入試とは何か

13

選抜入試の定義を再確認！ 14

選抜入試は多種多様！ 16

選抜入試は戦略が8割 19

選抜入試は逆転合格の可能性を広げる 23

自分の強みを活かした入試 25

選抜入試の具体的な対策 26

総合型選抜のよくあるQ&A 31

自己分析

37

過去の分析

38

過去のライフイベントを思い出す 39

過去のライフイベントを深掘りする 40

過去のライフイベントをカテゴリーライズし、自分の価値観を考える 41

未来の分析

46

「手段」と「目的」を混同してはいけない 48

「3人目の職人」になろう 51

未来を逆算して考えるための4つのステップ 53

各大学が求める人材と、自分に合った志望校の分析

向いている大学・学部がわかる5つの質問

72

各大学・学部が求める人材の特徴

79

試験対策..自分が適切な人物であることの証明

87

選抜入試の試験対策はただ1つ!?

88

願書対策

91

願書の4つのステップ

92

願書の3つの評価軸 93

課外活動 103

課外活動を文章で説明する型 103

活動内容で重要な要素(評価軸) 110

小論文 112

小論文の考え方 113

小論文の課題文の読み方 117

小論文の具体的な書き方 126

小論文を書くときに気をつけたいポイント 135

面接 144

評定、英語学部試験やその他資格 152

選抜入試の合格者はどのように合格したのか

155

1 偏差値35から難関私大に逆転合格した河上さん

156

2 普通の高校生ながら戦略を徹底的に考えて合格した神馬さん

165

3 一般入試と選抜入試の準備を両立させた渡辺さん

175

おわりに
183

合格者の実際の志望理由書

185

国際基督教大学（ICU） 合格者の志望理由書 186

早稲田大学 社会科学部 合格者の志望理由書 190

中央大学 法学部 政治学科 パブリック部門 合格者の志望理由書 192

日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科 総合型選抜 合格者の志望理由書 203

学習院大学 国際社会科学部 総合型選抜 合格者の志望理由書 208

早稲田大学 文化構想学部

国際日本文化論プログラム（JCUP） 合格者の志望理由書 215

中央大学 法学部 英語運用能力特別入試 合格者の志望理由書 221

第0章

選抜入試とは 何か

選抜入試の定義を再確認！

まず、選抜入試についての前提知識からみなさんにお話ししたいと思います。

大学に入るための入学試験の中で、今まで主流だったのが学力を測る試験を受けて合格を勝ち取る、いわゆる「一般入試」と呼ばれる形態です。ですが今、それ以外の選抜入試が増えてきています。ここまでは「はじめに」でもお話ししましたね。

ではみなさん、選抜入試とは一体、どのような試験形態か知っていますか？

「厳密な定義はわからないな。でも、AO入試とかよく聞くよね」

「推薦入試っていうのもあるし、総合型選抜というのも聞くと、どういう違いがあるのかわからない」

という曖昧な認識の人もいると思うので、まずは言葉の定義から復習しましょう。

選抜入試には主に2つの形態があります。学校推薦型選抜と、総合型選抜です。

「あれ？ AO入試は？」と思うかもしれませんが、それは昔の名前です。2021年か

ら名称変更が行われました。

推薦入試↓学校推薦型選抜入試

A〇入試↓総合型選抜入試

と改められました。なので今では「A〇入試」というものは存在せず、同じものが総合型選抜入試と呼ばれているのです。

もう1つの学校推薦型選抜入試は、言葉の通り学校からの推薦があつて選抜される形態の入試を指します。逆に、総合型選抜入試は、学校からの推薦が必要ない形態の入試になります。これが2つの選抜入試の違いです。

それぞれの特徴を簡単にまとめるとこの通りです。

学校推薦型選抜入試（旧推薦入試）

↓学校長の推薦が必要で、「指定校推薦」と「公募制推薦入試」の2種類がある。

総合型選抜入試（旧AO入試）

↓学校の許可がなくとも自らの意思で出願できる。

↓一定水準の学力（各大学の実施する試験、共通テスト等の成績、英語資格やその他検定、評定平均値など）が要求される。

後者の公募制推薦入試は、その評価の基準が厳しいことが少なくありません。国公立に多く、専願であることも多いです。数年前から東京大学の入試でも推薦入試が導入されていますが、これも公募制推薦入試の形態です。

ここまで見えてきたのが2023年現在の選抜入試のあり方です。ただ、まだ名称が変更されてから日が浅く、名前と入試方式が一致していなかったり、未統一だったりするケースもありますので注意してください。

選抜入試は多種多様！

ここまで選抜入試の分類を整理しましたが、これらの「選抜入試」は試験内容が非常に幅広いのが特徴です。

一般入試のように、「いくつかの試験でいい点が取れば合格できる」というような明確な基準があるわけでも、「文系だと英語と国語と社会を問う」というような定番の試験内容が決まっているわけでもなく、必要とされるものが大学や学部によって本当に多種多様です。言い換えれば、「こうすれば受かる」という正解のルートが一概には言えないのです。

小論文を提出させて評価するものもあれば、グループディスカッションや面接を重視するものもあります。他の志望者の前でプレゼンをさせるものもありますし、共通テストの結果が大きく加味されるような一般入試に近いものもあります。「選抜型」「対話型」「実技・体験型」などの分類があるにはあるのですが、正直その枠組みだけで語れるものではありません。

中でも一番難しいポイントは、同じ大学であっても、それぞれの選抜入試によって課される試験内容も求める学生像もまったく変わってくることです。

一例を挙げると、早稲田大学の文化構想学部にはJCUIP (Global Studies in Japanese Cultures Program : 国際日本文化論プログラム) という特殊な選抜入試形態があります。これは日本人の学生15人と海外からの留学生で構成されている、「海外の留学生と関わりたい、

日本の文化を世界に発信したい」という人に向いているプログラムで、それに沿った選抜入試になっています。英語の志望理由書を書く必要があつて、国際社会に興味があるかが問われます。

一方で、同じく早稲田大学の社会科学部では全国自己推薦という選抜入試が行われていますが、これは、地方ごとに枠が設定されています。つまり、住んでいる場所が「田舎」であればあるほど競争率が低く有利になります。そして、面接よりも自分の住んでいる地域に関連した小論文の方が重視される傾向があります。これは英語で書く必要はありません。

このように、同じ大学であるにもかかわらず、学部によって入試の形態は大きく変わってくるわけです。

それゆえ選抜入試では一般入試よりもはるかに情報収集が重要となり、事前準備の仕方によって合否が大きく変わってきます。

次は、そんな選抜入試にどのように対応するか、戦略を論じていきたいと思います。

選抜入試は戦略が8割

ここではつきり申し上げておきますと、選抜入試は相性の入試です。

選抜入試の攻略で大事なものは、自分と学部との相性を見極めた上で適切な入試に出願することです。大学、学部側の求める人物像を理解し、自分の適性をよく考えて合っている学部を選び、時には求められる人物像に自分を合わせていく必要があります。

この「相性」というのは、恋愛に例えるとわかりやすいです。

みなさんにも「恋人に求める条件」というものがありますよね？

「身長が高い優しい男の子がいい！」

「可愛い系の話の面白い女の子がいい！」

など、みなさんにも人それぞれ、相手に求めるものがあるはずですよ。

そしてみなさんが「こういうタイプが望ましい」と思うのと同じように、大学・学部側もそれぞれ求めるタイプがある、「こういう学生に入ってほしい」という個性があるわけ

です。

恋愛であれば、今はマッチングアプリがあります。「自分はこういう人とつながりたいです」という理想と、「自分はこういうタイプです」という現状の2つを明確にすることで、相性のよさそうな人を紹介してもらえますね。ただし選抜入試には、相性のよい学部を紹介してくれるサービスはありませんので、きちんと自分で情報収集をする必要があるのです。

選抜入試で相性が大事だと実感できるエピソードをお話ししましょう。仮に、こんな2人が選抜入試を受けたとします。

Aさん…評定は3・5、英検準1級、水泳部の大会でそこその結果を残している
Bさん…評定は3・5、英検準1級、水泳部の大会でそこその結果を残している

要するに、2人ともほとんど同じような条件だと思ってください。でも、2人が同志社大学を受験し、片方は合格してもう片方は不合格になってしまいました。「同じ実力である

にもかかわらず片方が受かって片方が落ちる」というのは、一般入試ではなかなか考えにくいことですが、選抜入試ではこういうことがザラに発生します。

この2人の違いは、受験した学部でした。

Aさん：「**スポーツ健康科学部**」を受験

Bさん：「**心理学部**」を受験

「え、学部によってそんなに合否が分かれるの？」と思った人もいるかもしれませんが、実際にはこの場合、片方が落ちて、片方は受かりました。どちらが合格したか、みなさんにはわかりますか？

正解は、「**スポーツ健康科学部**」を受験した方が不合格、です。

「**スポーツ健康科学部**」のアドミッション・ポリシーを読んでみましょう。ここには、「優れたスポーツ競技成績」かつ「英語によるコミュニケーション能力」を求めている、と書

かれています。

この場合の「優れたスポーツ競技成績」は、全国大会で結果を残すなど、かなりいい結果でないといけません。しかしAさんは水泳部の実績が足りず、受かりませんでした。

一方で合格したBさんは「人間関係学部心理学科」を受験していましたね。この「人間関係学部心理学科」の入試要項を読むと、「顕著な受賞歴や成績をもたなくとも、心理学部への志望動機がこれまでの取り組みと結びついていることを条件とし、出願資格を満たすものとする」とあります。つまり先ほどとは違って、水泳部の実績が必要ないわけですね。逆に、スポーツの経験を活かしつつ心理学科で勉強したい、という話は高校までの活動と志望動機がマッチしているのです。試験官からの評価が高いと想像できます。

だから、同じ条件であるにもかかわらず、Bさんの方が合格できたわけです。

さて、この話からわかってもらいたいことは、選抜入試は大学・学部・方式選びの時点で結果が80%決まるということです。どれくらい自分にマッチした学部を選べるかによって合格不合格は本当に大きく変わってきてしまうのです。

選抜入試は逆転合格の可能性を広げる

さて、選抜入試の仕組みや概要はわかかってもらえたと思うので、今度はこれを読んでいるみなさんに「選抜入試をどのように捉えて、活用してもらいたいのか」についてお話ししたいと思います。

結論から言うと、この本を読んでいるみなさんには、

「選抜入試は、うまく活用すれば大逆転合格も夢じゃない、可能性あふれるものである」

こう思ってもらいたいのです。ぜひ選抜入試で自分の可能性を広げてほしいのです。

ここで、クラウドセンバツ塾長、河上の例を述べましょう。

河上は、学力的にはそこまで高くはない高校に通っていました。またその高校で、そこまですべて成績も振るわない状態でした。

そんな中で高校2年の5月、三者面談で先生に「どこの大学に行きたい？」と聞かれ、

こう答えました。

「自分はMARCHに行きたい」

すると、周りの大人はこう言いました。

「今の実力だと、今から毎日6時間以上勉強しないと無理だよ」

「MARCHは同世代120万人の上位10%しか入れない。だから、今のままでは確実に難しいよ」

確かにこれらの言葉は正しいです。それくらい勉強しないと偏差値60の壁は突破できませんし、もし模試で偏差値60になったとしても、行きたい大学・学部合格できるかどうかはわかりません。

しかし、そんな中で河上は、総合型選抜入試を受けることにしました。

高校3年5月に受験する大学・学部・方式を決定し、6月からは課外活動と小論文対策

を開始しました。学校の評定は2.5しかなく、そこまで成績も芳しくありませんでしたが、それでも選抜入試に絞った勉強をしたのです。

7月時点でMARCHの模試ではE判定でしたが、英検準1級を取り、課外活動にも精力的に励みました。

自分の強みを活かした入試

河上の弱みは評定の低さでした。あとでお話ししますが、評定が低いと総合型選抜で合格の可能性のある大学の数は少なくなってしまう。たとえば早慶の合格は絶望的です。そのため、学校推薦は難しいと判断し、自己推薦での合格を考えた方がいいだろうという戦略を立てました。

そしてそれ以外にも、評定の低さを別のものでカバーできるような受験を考えたのです。中央大学法学部の英語運用能力特別入試は、受験に英検準1級が要求されます。英検準1級を取れる人は少ないため、倍率が1.2倍程度と低いのです。これだと評定の低さを英検でカバーできるわけですね。このように、自分の強みを活かした大学受験をしていった結果、中央大学や明治大学、学習院大学や日本女子大学など、受験したすべての学部合格

できたのです。7月時点でE判定なので一般入試だったら絶対にあり得ない結果だと思いますが、選抜入試の結果は全勝だったのです。

このように、選抜入試をうまく活用すれば、一般入試では考えられないような逆転合格の結果を得る可能性があるのです。この本を読んで、自分に合った戦略を立てて、ぜひ多くの人に逆転合格を勝ち取ってほしいと思います。

選抜入試の具体的な対策

この本では、3つのステップで選抜入試の対策を考えていきます。この3つのステップは、とにかくやってほしい、もつと言えばやらないと合格できないので、ぜひ実践してください。

そのステップとはこの3つです。

- ① **自分の強み分析**：「あなた（受験生）の強みは？」
- ② **志望校が求めている人材分析**：「志望校が求めている人材は？」
- ③ **自分が適切な人材であるという証明**：「あなたがその学部に合う人材である理由は？」

「その学部での学びを生かし、何を達成したいのか？」

みなさんはスマホで地図を使ったことはありませんか？

使ったことがない人は、電車の乗り換え案内でも車のカーナビでもいいので、とにかくどこかに行くときに使うツール」を思い浮かべてください。

どんなツールを使ったとしても、多くの人が「どこかに行きたい」と思ったら、3つのステップを経てその経路を考えることでしょうか。

まずは、現在地を入力すること。

みなさんが東京駅にいるなら「東京駅」と、香川県にいるなら「香川」と入力することで、現在地情報を入力しますよね。

「今、自分がどこにいるのか」がわからないと、どこかに行きたくても迷子になってしまわずです。

東京に行きたいとき、自分が北海道にいるなら南に行けばいいとわかります。大阪にいるなら東に進むべきです。

逆に、自分がどこにいるかわからない状態では、どうすることもできず困ってしまうと

思います。だから今いる場所がどこのかを知る必要があるのです。

それと同じで、選抜入試を受けるにあたってはまず、自分の強み・弱みを理解することが必要です。自分の持っているものはなんなのか、自分はどんな大学に刺さる強みを持っているのか、自分は他の受験生と比べてどんな弱みがあるのかを明確にするべきなのです。

次にやるのが、目的地を入力することです。

どこに行きたいかを考えて、入力するということですね。富士山に行きたいなら「富士山」と、北海道に行きたいなら「北海道」と入力し、目的地を決めるわけです。

このとき、目的地がなかったらどこにも行くことはできません。「うーん、ここら辺をブラブラ……」なんて考えていたらいつの間にか富士山の頂上だった、ということはずりません。富士山の頂上に行きたいのなら、「富士山の頂上」と目的地を具体的にしておく必要があるのです。

特に選抜入試では、どこの大学の、どこの学部を目指すのかを明確にする必要があります。同じ大学であっても学部によって求められる能力は全然違ってきますし、入試形態も、

実践しておいた方がいい課外活動も、まったく変わってきてしまうのです。

学部レベルで、どの大学を受けるのか、明確にする必要があるわけです。

そして最後に、ルート案内です。

現在地と目的地が入力できたならば、あとは「そこまでの道のり」「最短距離はどういう道か？」が自^{おの}ずと理解できるようになるはずです。そして、そうなれば逆に「こっちは道は行かない方がいい」「これは無駄な努力になってしまう可能性が高い」という選ぶべきでない道も同時に理解できるようになります。

選抜入試の3ステップの中でも難しいのが、このルート案内です。自分が志望する大学の求める人材であるとアピールするにはどうすればいいか、ということなのです。

「自分は国際的なものに関心があります！」

「貴学も国際的な人材がお望みですよね！」

と言ったとしても、自分が本当に国際的な人間であると、具体的な経験で証明できなけ

れば説得力がありません。選抜入試において重要なのは、この「自分は志望校が求める人材である」と証明するための準備なのです。

ここまでの話をまとめると、「選抜入試はこの3ステップで決まる」ということです。

「自分の現在地」を入力するように、**自分の強みを分析する。**

「行きたい場所」を入力するように、**志望校が求めている人材を分析する。**

「この2地点の経路」を考えるように、**自分がその人材であるという証明を作る。**

本書では、このステップをそれぞれの章で詳しく論じています。

第1章「自己分析」では、自分の強みを見つける方法と、それを伝える方法を述べています。

第2章「各大学が求める人材と、自分に合った志望校の分析」では、志望校が求めている人材を見極め、自分に合った志望校を探す技術をお教えします。

第3章「試験対策…自分が適切な人物であることの証明」では、志望理由書や小論文、

面接といった実際の課題ごとに、大学が問いかける「あなたがこの学部にあふさわしい人材である理由は何？」「この学部での学びを生かし、何を達成したいのか？」といった質問への答え方を見ていきます。この第3章までがいわば理論編です。

そして第4章「選抜入試の合格者はどのように合格したのか」では、我々クラウドセンバツが送り出した選抜入試の合格者がどのように合格に至ったのかを、実際に大学に提出した書類やインタビューをもとにご紹介します。最後の付録「合格者の実際の志望理由書」では、さらに踏み込んで実際に大学に提出した志望理由書も掲載しました。実践編といえるべき第4章と付録では、選抜入試のリアルをみなさんにご覧いただければと思います。

総合型選抜のよくあるQ&A

ここで本章の最後に、総合型選抜入試についてよくある質問にまとめてお答えします。第1章からは体系的に選抜入試の攻略法を解説していきますが、その前にみなさんの多くが疑問に感じていること、知りたいことについて個別に見ていききたいと思います。

総合型全体のQ & A

穴場の大学はある？

↓みなさんの状況によって、「穴場」の大学がどこかが変わってくるので一概には言えませんが、穴場の大学はあります。たとえば、定番ではありますが女子学生には女子大学が穴場の大学となりえます。また、東京以外の大学は比較的競争率も低い傾向にあるため、横浜市立大学や南山大学、立命館アジア太平洋大学など、東京以外でMARCHEレベルの評価を得ている大学も穴場と言えます（各大学の特徴については詳しくは第3章）。

公募制と総合型、AOの違いってなに？

↓公募制推薦は学校長の推薦状が必要で、合格後に辞退することができない入試方式です。それに対して、AO入試は基本的には学校からの推薦は必要なく、併願が可能な大学もありました。AO入試の名称が変更されたのが、現在の総合型選抜です。公募制推薦は専願になるため、倍率が低くなる傾向にあります。

理系の選抜入試のメリットやデメリット、注意点は？

↓理系の選抜入試は文系と比較して倍率が低い傾向にあります。ほとんどの大学で学力試験が課されるため注意が必要ですが、1科目（もしくは2科目）に絞って対策ができることは大きなメリットでしょう。

総合型選抜入試に向いているのはどんな人？

↓自分の将来の明確なビジョンを持っている人が合格しやすいです。大学が求める学生は「卒業後に社会で活躍できる学生」です。いかに成績がよく勉強ができて、それを社会で活かさなければ大学にもメリットはありません。したがって、将来の目標を達成させるために大学という「手段」を利用する、というスタンスを持っている人ほど受かりやすいと言えます。

どのように情報収集すればいい？

↓基本的に大学のホームページに入試要項が掲載されています。入試要項に記載されている受験資格、日程、試験内容を熟読しましょう。その他の情報は大学説明会やオープンキ

キャンパスなどに参加し、担当の職員に質問するとよいです。

部活や一般の対策で忙しいが、どのように対策を進めればいい？

↓総合型の対策に必ずしも1日の大半を費やす必要はありません。1日1時間弱の時間をとり、願書の作成や小論文対策を行うのがよいでしょう。実際の合格者のスケジュールについては第4章で説明しています。

面接のQ&A

面接でよく聞かれる質問や、必ず聞かれることはある？

↓志望理由、高校時代に力を入れたこと、自己PR、最近気になるニュースなどは一般的にどの大学でもよく聞かれる質問です。面接対策として、これらの質問への回答を準備するようにしましょう。

「あなたが入学することで大学にどのようなメリットがあるか」という質問の答え

方を教えて！

↓「自分の強みがどのように大学教育の質や他の生徒の学びに貢献するか」を説明しましょう。この質問に答えるときは、①自分の強み、②強みを裏付けする経験、③強みを活かした大学での学習計画、④大学での学習がどのように大学や社会に貢献するのか、の4要素を順番に話す必要があります。詳しい考え方は第3章で解説しています。

小論文のQ & A

小論文はどんな対策が必要？

↓小論文にはいくつかの対策が必要ですが、その中でも大きく3つのポイントがあります。まず1つ目は、書く力をつけることです。「4部構成」などの論理的に書くための文章の型に沿って練習し、先生に添削してもらうのがよいでしょう。

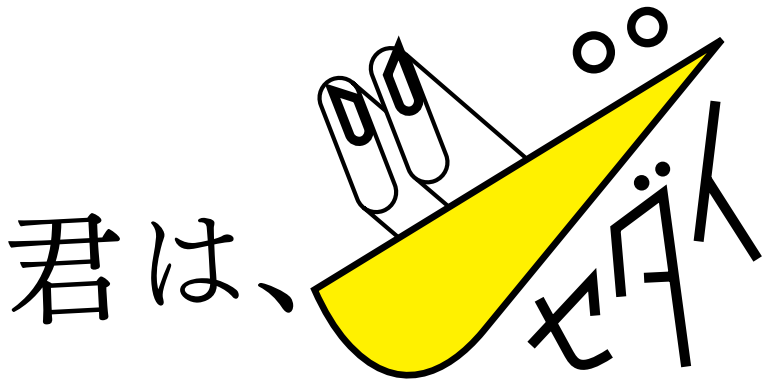
2つ目は時事問題の知識をつけることです。新聞や政治経済の教科書を読むことのほか、NHKやYoutubeなどでドキュメンタリー動画や討論番組を見ることも勉強になります。

3つ目は文章の読解力をつけることです。多くの大学では「テーマ型」の小論文に限ら

ず、長文が与えられ、その趣旨を踏まえた上で自分の考えを述べる「長文読解型」が出題されます。長文読解型の力をつけるためには、現代文の勉強と同様に長文問題の演習を繰り返し、読解力と語彙力をつけていく必要があります。

作文（読書感想文等）が苦手な学生は小論文入試に挑戦できる？

↓できます。小論文は作文とは違い、答えのある文章です。ルールや構成を理解し、時事的な知識をつけることさえできれば、誰でも書くことができます。



君は、

ジセダイ

何と闘うか？

<https://ji-sedai.jp>

「ジセダイ」は、20代以下の若者に向けた、**行動機会提案サイト**です。読む→考える→行動する。このサイクルを、困難な時代にあっても前向きに自分の人生を切り開いていこうとする次世代の人間に向けて提供し続けます。

メインコンテンツ
ジセダイイベント

著者に会える、同世代と話せるイベントを毎月開催中！ 行動機会提案サイトの真骨頂です！

ジセダイ総研

若手専門家による、事実に基いた、論点の明確な読み物を。「議論の始点」を供給するシンクタンク設立！

星海社新書試し読み

既刊・新刊を含む、すべての星海社新書が試し読み可能！

マーカー部分をクリックして、「ジセダイ」をチェック!!!

行動せよ!!!